

平成 26 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(清水地区)

開催日時	平成 26 年 10 月 7 日 (火) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	清水ふれあいセンター	
町民参加者	男 48 人 女 14 人 (40 代以下 2 人、50 代 8 人、60 代以上 52 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、環境農林課長、新東名対策室長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：大野山牧場の閉鎖に伴う今後の対応》

○大野山牧場の閉鎖については様々な問題があり、廃止に向けてなかなかうまくいかに話が進んでいないという実態がある。木を伐採して放牧地を造成しておいて、牧場を廃止するので、土地はそのまま地元に戻しますでは困る。

○大野山は大きな町の財産でもあり、観光に活用してもらいたい。

《テーマ：鳥獣被害拡大に対する農林業への防止策及び地域の安全対策等》

○鹿による被害として田植え後に稲を食べられたり、稲を踏みつぶされたり、お茶の苗木を踏みつぶされたりする被害がある。

○ワナをかけるだけでも駆除できるので、できるだけ大勢の方にやってもらえるように、町でも考えてもらいたい。

《テーマ：清水中学校閉校後の施設の利用計画等》

○学校の跡地利用は複雑で難しい問題であると感じている。これがいいというものが見いだせないが、今後も継続していい方法を探してもらいたい。

○学校がなくなってしまうと、活気がなくなってしまう心配もあるので、早い時期に利活用される先を探してもらいたい。

○清水地区では年中行事で体育館の利用をしているが、体育館についてはどのように考えているのか。

《テーマ：町政全般》

○山北駅前に新しく建設した町営住宅には若い人たちも入り新しい自治会もできたが、若い人たちが魅力を持てるような、新しい魅力づくりをしていけたらよいのではないかと。

○ボランティアでいろんな学校に行く機会が多いが学力の低下や学習意欲の低下を感じる。

○小学校の給食費を市で負担している自治体もある。山北町でもそういった取り組みをしてもらえば、魅力ある子育てを進めている町に繋がるのではないか。